

前回議事への対応

日時：平成 29 年 9 月 12 日（火）18：00～20：00

場所：日野市役所 505 会議室

骨子案の確認・検討について

・日野市の生きものについて

要点	<ul style="list-style-type: none"> 掲載する写真は、植物であれば花の時期など、見た人が守りたいと思える写真であるとよい
対応方針	<p>日野市内で撮影したものを優先して、親しみを持っていただけるような写真を選ぶこととする。掲載する写真および文章に対する意見は別途委員の方々より提供いただくこととする。</p>

・取組み内容、行動計画について

要点	<ul style="list-style-type: none"> 資料 2 の P40「4.1 取組みの体系」と P41～の「4.2 取組みの内容について」で、基本方針の見出しスタイルを統一するべきである。 資料 2-2 の P43「1-4-12 地域の自然や伝統文化に関する課外活動の推進」は、「地域の自然や伝統文化に関する活動の推進」とするのがよい。 資料 2-2 の P49「2-4-3 日野産江戸前アユの普及推進」について、落ちアユに関する内容も入れてほしい。 「江戸前」というのは東京湾で獲れた魚のことである。「江戸前アユ」を使うのであれば、注釈をつけるべきである。 「江戸前アユ」という表現の他に、「献上アユ」など呼び方を検討した方がよい。 資料 2-2 の P43「1-4-13 食育による自然の恵みの理解促進」について、花育も検討した方がよい。 資料 2-2 の P44「1-6-3 水とみどりといった自然の観光資源に着目した回遊ルートの PR」は、「自然と一体になった」とするとよい。 資料 2-2 の P61「5-3-3 用水路整備における開渠化、もしくは河床を固めない工法の採用」について、魚巢ブロックを使った方法を取り入れてほしい。 資料 2-2 の P60「5-1-3 事業所における緑化の推進」は、「在来種の緑化」が基本である。変更しない方がよい。 資料 2-2 の P62 の現状・課題「まとまった自然環境は河川にのみ残されている」という表現は、「河川にはまとまった自然環境が残っているから、大事にしよう」という意味合いにするのがよい。 資料 2-2 の P63 の国・東京都・関係自治体の役割について、下水処理場の能力向上も検討してもらいたい。 資料 2-2 の P65「6-1-15 天然記念物の保護と周知啓発」について、多摩平
----	---

	<p>のモミを天然記念物に指定してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 2-2 の P65 「6-1-3 多摩動物公園における野生生物の生息域の保全」は、「多摩動物公園に来る野生生物の生息環境の保全」とするのがよい。 資料 2-2 の P65 「6-1 日野らしい環境・生きものの生息環境の保全」は、「日野らしい自然環境」とするのがよい。 「6-1-11 自然度の高い元来の日野市の環境復元」は、「日野市の自然環境の復元」とするのがよい。 資料 2-2 の P72 「8-1-1 日野市侵略的外来種の選定」は、種を選定せずに対策をするのであれば、「侵略的外来種への対策」とすればよい。 資料 2-2 の P72 「8-1-5 飼育している生きものを野外に放さないための普及啓発活動」について、生物多様性の 3 つのレベルの中の遺伝子の多様性を考え、飼育している動物を放すことだけでなく、安易な国内外来種の移入についても注意喚起するというを加えてほしい。
対応方針	<p>取組み内容について表現の変更・修正を行った。資料 2 (P54～)</p> <p>「5-3-3 用水路整備における開渠化、もしくは河床を固めない工法の採用」については、魚巢ブロックの使用について 5-2 に追加した。目標 6 の国・東京都・関係自治体の役割について、下水処理場の能力向上の役割を追加した。</p>

・重点プロジェクトの検討について

要点	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に表の作り方が分からない。こういうことがやりたいのだが、その中で重点的にまずはこれをやるという言い方をするとよい。 資料 2 の P69 「1. 自然に触れ合う原体験の推進」で作成する冊子については、親子で学べるということがよい。 資料 2 の P71 「7. 多くの生きものが集まるまちづくり」は、目標に目的語がなく、何をどうするのが分からない。 「重要種」と「希少種」など用語の統一をすべきである。 資料 2 の P70 「3. 多様な主体による連絡会・情報交換会の開催」は、多様な主体による連絡会であるので、事業者も含めていろんな主体との連絡調整が理想である。 絶滅危惧種が重要なのではなく、今たくさん見ることができる生きものの生息地をしっかりと守っていかなくてはいけない。そういうことをもう少し考えた方がよい。 P69 の 1 と 3 にある「関連事業」という項目は他にはないため、体裁を統一した方がよい。 資料 2 の P70 「5. 用水と湧水の保全」について、「用水路延長の減少ゼロ」は、現実に目標とするのは難しい。内容を変えた方がよい。
対応方針	<p>いただいた意見をもとに、重点プロジェクトについて、全体的な再整理を行い、表現の変更などを行った。資料 2 (P82～)</p>

・推進体制と進行管理について

要点	・環境審議会の開催は、年に1回ではなく回数を多くして、こまめに見ていただけるような委員会があるとよい。
対応方針	いただいた意見をもとに、既存の環境審議会や関係部署との連携や推進体制について修正を行った。資料 2 (P86～)

・その他について

要点	・前回委員会での、日野市の昆虫や魚についての検討という意見が反映されていない。
対応方針	日野市の昆虫や魚の指定を検討する取組みを行動計画として追加した。資料 2 (P57、74)